

ロボット手術の 時代が到来しました！

ロボット手術とは、従来の腹腔鏡・胸腔鏡手術にロボットの機能を組み合わせて行う手術のことです。

ロボットとはいえ、お掃除ロボットのようにロボットが自動で動くわけではなく、術者がロボットを操作して手術を行います。

ロボット手術では今までの手術に比べ、より繊細で精密な手術を行うことが可能になります。

中部ろうさい病院では、2023年7月から手術支援ロボット“ダビンチ”を導入し、このロボット手術を開始しております。

ロボット手術では、患者さんの体に1cm程度の穴を4～6個開け、「パシエントカート」と呼ばれる器械（図①）を接続します。



図①：パシエントカート

外科

患者カートには4本のアームがあり、それぞれに「鉗子」(図②)を接続します。

この鉗子でお腹の中の組織を持ったり切ったりするのですが、鉗子の先端が人間の手の様に自由自在に動くようになっているため、非常に繊細な操作が可能になります。

術者は「サージョンコンソール」と呼ばれる器械(図③)で操作をしますが、こちらも非常に画質のきれいな画像が3Dで見ることができて、手術の質の向上に役立ちます。

当院で手術を受ける際にはぜひ担当医に「ロボット手術はできますか?」と尋ねてみてください!!



図②：鉗子



図③：サージョンコンソール



わたしたちが手術します!!